

ニホンイタチ・エゾクロテン・ミンク

Mustela itatsi

Martes zibellina brachyura

Mustela vison

名前の由来ーニホンイタチ

日本のイタチ。イタチは息を殺して忍び寄ることから「息絶ち」という説、池の魚を食い尽くすことから「魚絶ち」などの他、様々な説がある。
漢字名：日本鼬

エゾクロテン (十勝のアイヌ語でホイヌ)

北海道(エゾ)のクロテン。エゾクロテンはクロテンの亜種だが黒くない。大陸のクロテンは黒い。テンは貂の中国の発音(テウ)が訛ったものとされている。漢字名：蝦夷黒貂

ミンク (特定外来生物)

英名のMink(American mink)から。



ミンク(上・右とも)
水辺に生息する



ミンク：頭胴長：オス40cm程度、メス36cm程度。尾長オス19cm程度、メス17cm程度、体重オス1kg程度、メス650g程度。多くの個体は黒褐色。

形態的特徴

ニホンイタチ：頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで)：オス288~370cm、メス195~255cm。尾長：オス122~163cm、メス76~115cm。体重：オス290~650g、メス115~175g。毛は褐色で、顔が黒褐色。口吻付近に白色部がある。

右前足

右後足

エゾクロテン：頭胴長：オス38~56cm、メス35~51cm、尾長：オス12~19cm、メス11~17cm、体重：オス0.9~1.8kg、メス0.7~1.6kg。体色はこげ茶から黄色まで多様。夏毛では全身黒っぽい。

環境省レッドデータ：情報不足

右前足

右前足

右後足

生息環境・分布

ニホンイタチ：河川、湖沼、湿地沿い、沢地などが主だが、水辺から離れた森林などにも生息。

分布：日本固有種。国内分布は、全国に分布。北海道内では移入種として全域に分布。十勝地方では、平地から山地の全域に広く生息している。

エゾクロテン：平地から山地の樹林。岩穴、樹洞、山小屋の屋根裏などを巣とする事がある。

分布：国外では、南千島に分布。(クロテンはユーラシア大陸高緯度に広く分布)国内では、北海道全域に分布。十勝地方では、主に山地の樹林に生息。希に平地で見られる。

右後足

ミンク：川や湖、海岸などの水辺。上手に泳ぐ。

分布：原産は北アメリカ。外来種として北海道、サハリン、ヨーロッパ、ロシアなどで野生化。国内では、北海道全域に分布。十勝地方では、海岸沿いおよび低地～山間部の河川や湖沼沿いに生息する。

食性・他生物との関わり

ニホンイタチ：ネズミ、昆虫、魚などの小動物が主。

基本的に捕食者であるが、希にフクロウなどに捕食される事もあると思われる。

エゾクロテン：ネズミ類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類などの動物食のほか、果実なども食べる。

基本的に捕食者であるが、大型のタカやフクロウ類に捕食されることもある。

ミンク：肉食性で、魚やカエルの他、ノネズミや小鳥、ウサギなども食べる。基本的に捕食者であるが、大型のタカ・フクロウ類などに捕食されることもあると思われる。

繁殖生態・寿命

ニホンイタチ：交尾期は4~5月で妊娠は37日。4~5子を産む。2ヶ月ほど子育てする。寿命は飼育下で1.4年。

エゾクロテン：詳細は不明。交尾期は6~8月、すぐには妊娠せず、出産は翌年の4~5月。1~5子を産む。

ミンク：交尾期は2~3月、出産は4月下旬~5月。一度に4~6子を産む。最長では7年の記録がある。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期	[Green bar across all months]											
交尾期		ミンク		ニホンイタチ		エゾクロテン(翌春出産)						
出産期				[Red bar]								

参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994
「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新聞社 1997

「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

「動物名の由来」中村浩 東京書籍 1981

「フィールドガイド 足跡図鑑」子安和弘 日経サイエンス社 1993

「本別町生活文化誌 抜刷 第九編 アイヌの生活と文化」

魚類

底生動物

爬虫類
両生類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ